

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブック

日本小児外科学会トランジション検討委員会(委員長 田附裕子 大阪大学小児成育外科)
日小外会誌 第 59 巻 1 号 2023 年 2 月, pp86-99

Minds 掲載 無

■1 漢方薬

疾患:

ヒルシュスプルング病類縁疾患

有効性に関する記載ないしその要約:

『5 移行期支援ガイドブック(腸管不全②ヒルシュスプルング病類縁疾患)』の『2 一般的な治療概略』に以下の記載がある。

『消化管運動賦活薬や漢方薬, Synbiotics が症状の緩和に有効であったとの報告もあるが, エビデンスは不十分である』